

追加型投信／海外／債券

月次報告書

基準日: 2023年2月28日

設定・運用 : ドイチ・アセット・マネジメント株式会社

ファンド概況

基準価額・純資産総額

基準価額	6,649円
純資産総額	4.2億円

税引前分配金実績（一万口あたり）

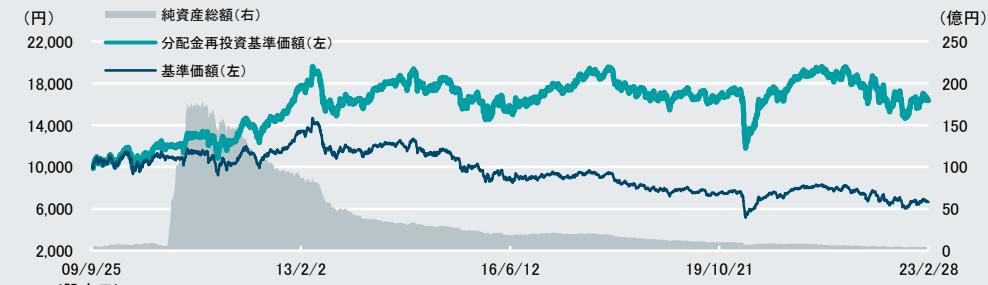
第155期 2022年10月	15円
第156期 2022年11月	15円
第157期 2022年12月	15円
第158期 2023年1月	15円
第159期 2023年2月	15円
設定来累計	9,045円

※運用状況によっては、分配金額が変わること、あるいは分配金が支払われない場合があります。

<決算日>
年12回(原則として毎月20日)とします。
ただし、当該日が休業日の場合は翌営業日を決算日とします。

運用実績

設定来の基準価額の推移



騰落率(税引前分配金込)

ファンド	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
	-3.17%	-0.37%	-2.46%	-3.35%	-3.02%	63.43%

ポートフォリオの状況(豪ドルコース / DWS エマージング・ソブリン・ボンド・マスター・ファンド)

ファンド組入状況(豪ドルコース)

DWS エマージング・ソブリン・ボンド・マスター・ファンド(豪ドル)	99.1%
DWS フォルゾーゲ・ゲルトマルクト	0.0%
現金等	0.8%
合計	100.0%

※ファンドの純資産総額に対する比率を表示しています。

ポートフォリオ特性値

平均最終利回り	8.5%
平均直接利回り	6.5%
平均クーポン	5.1%
平均残存年数	10.9年
平均修正デュレーション	6.9年

国別構成比率(上位5ヶ国)

メキシコ	5.8%
トルコ	5.1%
南アフリカ	4.9%
エジプト	4.9%
インドネシア	4.8%
合計	25.5%

格付別構成比率

AAA	0.0%
AA	2.5%
A	6.0%
BBB	35.8%
BB以下	55.2%
合計	99.6%

組入上位10銘柄

発行体	通貨	種類	償還日	クーポン	格付	比率(%)
西アフリカ開発銀行	USD	国際機関債	27/07/27	5.000%	BBB+	6.2%
コートジボワール国債	EUR	国債	31/10/17	5.875%	BB-	3.0%
インドネシア国債	USD	国債	48/01/11	4.350%	BBB	2.8%
ナイジェリア国債	USD	国債	32/02/16	7.875%	B-	2.5%
オマーン・ソブリン・スクーク	USD	国債	30/06/15	4.875%	BB	2.4%
エコペトロル	USD	政府機関債	30/04/29	6.875%	BBB-	2.4%
トルコ農業銀行	USD	政府機関債	26/03/02	5.375%	B-	2.4%
ハンガリー国債	EUR	国債	30/11/18	0.500%	BBB	2.2%
ジョージア・レイルウェイ	USD	政府機関債	28/06/17	4.000%	BB-	2.0%
アンゴラ国債	USD	国債	29/11/26	8.000%	B-	2.0%

組入銘柄数: 78銘柄

組入上位10銘柄合計: 27.9%

※「ファンド組入状況」以外は、DWS エマージング・ソブリン・ボンド・マスター・ファンドのデータを当社で集計したものです。

※各構成比率および組入比率はDWS エマージング・ソブリン・ボンド・マスター・ファンドの純資産総額に対する比率を表示しています。

※格付は、ムーディーズ、S&P、フィッチのうち上位のものを採用しています。

※当資料に記載されているご留意事項等を必ずご覧下さい。

追加型投信／海外／債券

月次報告書

基準日: 2023年2月28日

設定・運用 : ドイチ・アセット・マネジメント株式会社

ファンド概況

基準価額・純資産総額

基準価額	2,243円
純資産総額	4.7億円

税引前分配金実績（一万口あたり）

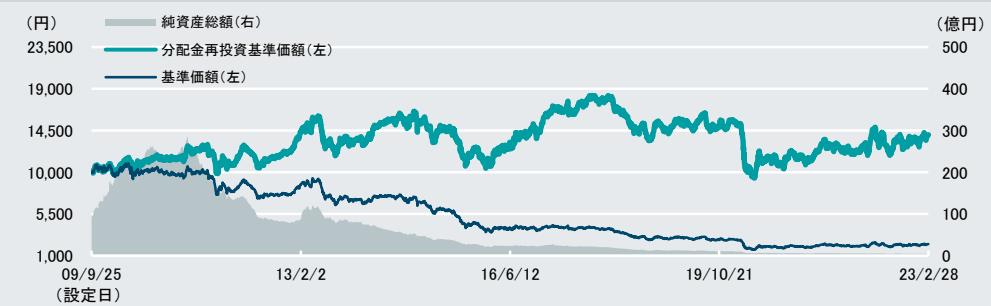
第155期 2022年10月	5円
第156期 2022年11月	5円
第157期 2022年12月	5円
第158期 2023年1月	5円
第159期 2023年2月	5円
設定来累計	10,825円

※運用状況によっては、分配金額が変わること、あるいは分配金が支払われない場合があります。

<決算日>
年12回(原則として毎月20日)とします。
ただし、当該日が休業日の場合は翌営業日を決算日とします。

運用実績

設定来の基準価額の推移



騰落率(税引前分配金込)

ファンド	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
	0.32%	4.17%	1.81%	12.79%	-3.26%	40.32%

ポートフォリオの状況(ブラジルレアルコース / DWS エマージング・ソブリン・ボンド・マスター・ファンド)

ファンド組入状況(ブラジルレアルコース)

DWS エマージング・ソブリン・ボンド・マスター・ファンド(ブラジルレアル)	99.0%
DWS フォルゾーゲ・ゲルトマルクト	0.0%
現金等	0.9%
合計	100.0%

※ファンドの純資産総額に対する比率を表示しています。

ポートフォリオ特性値

平均最終利回り	8.5%
平均直接利回り	6.5%
平均クーポン	5.1%
平均残存年数	10.9年
平均修正デュレーション	6.9年

国別構成比率(上位5ヶ国)

メキシコ	5.8%
トルコ	5.1%
南アフリカ	4.9%
エジプト	4.9%
インドネシア	4.8%
合計	25.5%

格付別構成比率

AAA	0.0%
AA	2.5%
A	6.0%
BBB	35.8%
BB以下	55.2%
合計	99.6%

組入上位10銘柄

発行体	通貨	種類	償還日	クーポン	格付	比率(%)
西アフリカ開発銀行	USD	国際機関債	27/07/27	5.000%	BBB+	6.2%
コートジボワール国債	EUR	国債	31/10/17	5.875%	BB-	3.0%
インドネシア国債	USD	国債	48/01/11	4.350%	BBB	2.8%
ナイジェリア国債	USD	国債	32/02/16	7.875%	B-	2.5%
オマーン・ソブリン・スクーク	USD	国債	30/06/15	4.875%	BB	2.4%
エコペトロル	USD	政府機関債	30/04/29	6.875%	BBB-	2.4%
トルコ農業銀行	USD	政府機関債	26/03/02	5.375%	B-	2.4%
ハンガリー国債	EUR	国債	30/11/18	0.500%	BBB	2.2%
ジョージア・レイルウェイ	USD	政府機関債	28/06/17	4.000%	BB-	2.0%
アンゴラ国債	USD	国債	29/11/26	8.000%	B-	2.0%

組入銘柄数: 78銘柄

組入上位10銘柄合計: 27.9%

※「ファンド組入状況」以外は、DWS エマージング・ソブリン・ボンド・マスター・ファンドのデータを当社で集計したものです。

※各構成比率および組入比率はDWS エマージング・ソブリン・ボンド・マスター・ファンドの純資産総額に対する比率を表示しています。

※格付は、ムーディーズ、S&P、フィッチのうち上位のものを採用しています。

※当資料に記載されているご留意事項等を必ずご覧下さい。

DWS 通貨選択型エマージング・ソブリン・ボンド・ファンド
円コース(毎月分配型) 愛称: 通貨セレクト 円

追加型投信／海外／債券

月次報告書

DWS

基準日: 2023年2月28日

設定・運用 : ドイチ・アセット・マネジメント株式会社

ファンド概況

基準価額・純資産総額

基準価額	6,238円
純資産総額	1.4億円

税引前分配金実績(一万口あたり)

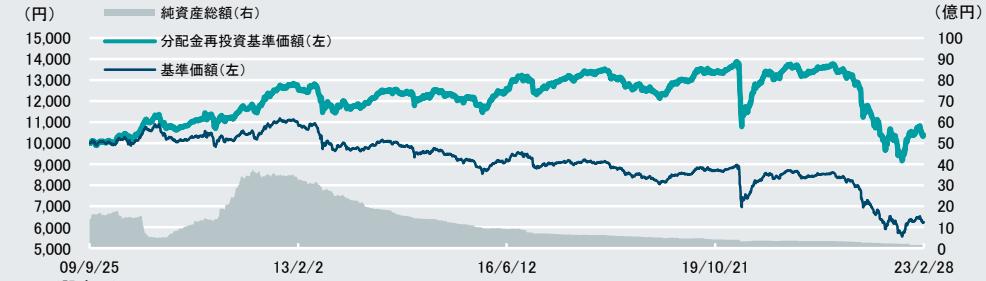
第155期 2022年10月	15円
第156期 2022年11月	15円
第157期 2022年12月	15円
第158期 2023年1月	15円
第159期 2023年2月	15円
設定来累計	4,785円

※運用状況によっては、分配金額が変わること、あるいは分配金が支払われない場合があります。

<決算日>
年12回(原則として毎月20日)とします。
ただし、当該日が休業日の場合は翌営業日を決算日とします。

運用実績

設定来の基準価額の推移



※分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しております。ただし、設定來の分配金が0円のファンドにつきましては基準価額と重なって表示しております。

※基準価額の推移は、信託報酬控除後の価額を表示しております。

騰落率(税引前分配金込)

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ファンド	-2.92%	0.86%	0.75%	-12.95%	-24.42%	3.80%

ポートフォリオの状況(円コース / DWS エマージング・ソブリン・ボンド・マスター・ファンド)

ファンド組入状況(円コース)

DWS エマージング・ソブリン・ボンド・マスター・ファンド(円)	99.1%
DWS フォルゾーゲ・ゲルトマルクト	0.1%
現金等	0.8%
合計	100.0%

※ファンドの純資産総額に対する比率を表示しています。

ポートフォリオ特性値

平均最終利回り	8.5%
平均直接利回り	6.5%
平均クーポン	5.1%
平均残存年数	10.9年
平均修正デュレーション	6.9年

国別構成比率(上位5ヶ国)

メキシコ	5.8%
トルコ	5.1%
南アフリカ	4.9%
エジプト	4.9%
インドネシア	4.8%
合計	25.5%

格付別構成比率

AAA	0.0%
AA	2.5%
A	6.0%
BBB	35.8%
BB以下	55.2%
合計	99.6%

組入上位10銘柄

発行体	通貨	種類	償還日	クーポン	格付	比率(%)
西アフリカ開発銀行	USD	国際機関債	27/07/27	5.000%	BBB+	6.2%
コートジボワール国債	EUR	国債	31/10/17	5.875%	BB-	3.0%
インドネシア国債	USD	国債	48/01/11	4.350%	BBB	2.8%
ナイジェリア国債	USD	国債	32/02/16	7.875%	B-	2.5%
オマーン・ソブリン・スクーク	USD	国債	30/06/15	4.875%	BB	2.4%
エコペトロル	USD	政府機関債	30/04/29	6.875%	BBB-	2.4%
トルコ農業銀行	USD	政府機関債	26/03/02	5.375%	B-	2.4%
ハンガリー国債	EUR	国債	30/11/18	0.500%	BBB	2.2%
ジョージア・レイルウェイ	USD	政府機関債	28/06/17	4.000%	BB-	2.0%
アンゴラ国債	USD	国債	29/11/26	8.000%	B-	2.0%

組入銘柄数: 78銘柄

組入上位10銘柄合計: 27.9%

※「ファンド組入状況」以外は、DWS エマージング・ソブリン・ボンド・マスター・ファンドのデータを当社で集計したものです。

※各構成比率および組入比率はDWS エマージング・ソブリン・ボンド・マスター・ファンドの純資産総額に対する比率を表示しています。

※格付は、ムーディーズ、S&P、フィッチのうち上位のものを採用しています。

※当資料に記載されているご留意事項等を必ずご覧下さい。

DWS 通貨選択型エマージング・ソブリン・ボンド・ファンド

豪ドルコース(毎月分配型)／ブラジルレアルコース(毎月分配型)／円コース(毎月分配型)

追加型投信／海外／債券

月次報告書

DWS

基準日：2023年2月28日

設定・運用：トイチ・アセット・マネジメント株式会社

ポートフォリオの状況及び組入上位5銘柄(DWS フォルゾーゲ・ゲルトマルクト)

ポートフォリオ特性値	銘柄	比率
銘柄数	DNB Boligkredit A.S.	1.4%
平均最終利回り	La Banque Postale	1.3%
平均残存年数	DNB Bank ASA	1.0%
平均クーポン	Santander Consumer Bank AS	1.0%
平均修正デュレーション	Bank of America Corp.	0.9%
	組入銘柄数：157銘柄	組入上位5銘柄合計
		5.5%

※DWS フォルゾーゲ・ゲルトマルクトのデータを当社で集計したものです。

※組入比率はDWS フォルゾーゲ・ゲルトマルクトの純資産総額に対する比率を表示しています。

ファンド・マネジャーのコメント

【投資環境】

債券市場：2月の主要国の10年国債利回り(長期金利*)は、米国、欧州(ドイツ)とも上昇しました(価格は下落)。米国では、月初は、米連邦公開市場委員会(FOMC)を受けて利上げ停止が近いとの見方が市場で強まり、長期金利は低下しました。その後、1月の雇用関連指標や小売売上高が市場予想を上回ったことを背景に、米国の経済が底堅いとの見方が広まり、長期金利は上昇しました。また、1月の消費者物価指数(CPI)の伸びが前年同月比で市場予想を上回り、米連邦準備制度理事会(FRB)の利上げ長期化観測が広がったことも長期金利の上昇要因となりました。欧州では、月初に開催された欧州中央銀行(ECB)理事会では予想通り0.50%の追加利上げが決定されましたが、声明は市場が警戒していたほどタカ派的とならず、金利は低下しました。その後は米国で早期利上げ停止観測が後退した影響や、ECB高官による利上げ継続発言等から金利は上昇しました。

新興国債券市場では欧米の利上げ長期化観測を背景とする米国金利の上昇が重石となり、市場(米ドル建)の代表的な指標であるJPモルガンEMBIグローバルダイバーシファイド指数のスプレッド*は拡大しました。月間の米ドル建リターンは中南米を始め全ての地域でマイナスとなりました。国別の状況については、トルコでは大規模地震が発生し、政府の対応への批判が強まりました。金融政策については、メキシコでは予想を上回る幅の利上げが、トルコでは予想に比べ小幅な利下げが決定されました。また、ブラジル、ロシア、インドネシアでは政策金利の据え置きが決定され、市場予想通りの結果となりました。

*金利(利回り)：債券価格は金利変動の影響を受けます。一般的に金利が低下した場合には債券価格は上昇し、逆に金利が上昇した場合には債券価格は下落する傾向があります。

*スプレッド：主に主要国債(先進国国債など)利回りとの利回り格差のこと、発行体の信用力や流動性等の影響を受けます。一般的に、信用力が高まればスプレッドは縮小(価格の上昇要因)し、信用力が低下すればスプレッドは拡大(価格の下落要因)する傾向があります。

為替市場(対円)：米ドルは、雇用関連指標やCPIの伸びが予想を上回り、早期利上げ停止観測が後退したことや、次期日銀総裁候補となった植田氏が現行の金融政策が適切と発言したことを受け、日米金利差が意識されて対円で上昇しました。豪ドルは、豪雇用統計が予想外に弱かったこと等が重石となった一方で、次期日銀総裁候補となった植田氏が現行の金融政策が適切と発言し、円安が進んだことから対円では小幅な動きにとどまりました。ブラジルレアルは、大統領がブラジル中央銀行に対する批判を強めたこと等が重石となりましたが、次期日銀総裁候補となった植田氏が現行の金融政策が適切と発言したことを受け円安が進んだことから、対円では上昇しました。

【運用経過】

当ファンドでは引き続き新興国の経済ファンダメンタルズや市場の流動性を考慮して運用を行いました。投資行動としてはアンゴラ国債やポーランドの銀行の新発債を購入しました。こうした結果、月末時点における地域別の配分は、アフリカ、中南米、欧州、アジア、中東の順に高い配分となっています。

国別配分では、資源国であるメキシコ、割安感のあるトルコや南アフリカ、経済状況の底堅さが見られるエジプト、インドネシア等を多く組み入れています。また、金利リスクについては、デュレーション*は前月からやや長めとしました。

* デュレーション：金利変動に対する債券価格の変動性を示します。一般的にデュレーションが長いほど金利変動に対する価格の変動が大きくなります。

【今後の運用方針】

国債市場については、米国等の底堅い経済指標の発表を受け主要中銀が利上げを長期化するとの観測は、金利の上昇要因と見られます。一方で、景気減速懸念が強まった場合は国債が選好され金利は低下すると考えています。

新興国債券市場は、主要国の金融政策に対する憶測や地政学リスク等が変動要因になると見込まれますが、中国の経済活動正常化によって新興国経済が恩恵を受けるとの期待や、利回りに対する投資家の需要回復が市場の支えとなると見られます。政治動向については、トルコでは地震の影響が広がっていることや、ロシア・ウクライナ情勢の長期化、重要選挙を控える国もあり注意が必要です。また、インフレによる影響も各国で異なることから、新興国の中でも引き続きパフォーマンスが分かれる展開を予想しています。

今後のポートフォリオの運用方針につきましては、各国の政治動向や経常収支などの経済ファンダメンタルズ、割安度などを注視しながら選択的に投資を行う予定です。また引き続き保有(キャリー)効果の獲得を狙った戦略をとる予定です。金利戦略につきましては、主要国との金融政策や資源価格などの市場への影響を見極めつつ、ポートフォリオの金利リスクを調整していく方針です。

(為替の見通し)

日本円	米国では、高インフレが継続する中、利上げペースや政策金利の到達点を巡る憶測が変動要因になる見通しです。また、日銀においても次期総裁のもとの金融政策に注目が集まっており、日米の金融政策を巡る憶測から米ドル・円は変動すると考えられます。
豪ドル	豪州準備銀行は利上げを継続している一方、日銀においても次期総裁のもとの金融政策に注目が集まっており、金融政策を巡る憶測が変動要因になると考えられます。また、中国の経済活動再開や資源価格の動向等にも影響を受ける可能性があります。
ブラジルレアル	相対的な金利水準の高さは今後も維持されると見られることはレアルのサポート材料になると見られます。一方で、新政権における財政不透明感や、日銀の金融政策の修正観測はレアルの重石となる見通しです。

※コメントは、DWSインベストメントGmbHの資料をもとに作成しており、DWS エマージング・ソブリン・ボンド・マスター・ファンドに関するものです。

※将来の市場環境の変動等により、上記運用方針が変更される場合があります。

DWS 通貨選択型エマージング・ソブリン・ボンド・ファンド

豪ドルコース(毎月分配型)／ブラジルレアルコース(毎月分配型)／円コース(毎月分配型)



追加型投信／海外／債券

月次報告書

基準日：2023年2月28日

設定・運用：トイチ・アセット・マネジメント株式会社

【参考】為替レート(対円)及び短期金利の推移



※出所:Bloomberg

※為替レートはWMロイターレートを使用しております。

為替取引によるプレミアム／コスト及びヘッジプレミアム／コストの参考値 (23/2/28)

米ドル短期金利	4.7%	円短期金利	-0.0%
豪ドル短期金利	3.4%	ヘッジプレミアム／コスト	-4.7%
為替取引によるプレミアム／コスト	-1.3%		
ブラジルレアル短期金利	13.6%		
為替取引によるプレミアム／コスト	9.0%		

※短期金利は、米ドル:SOFR1カ月、豪ドル:バンク・ビル・スワップレート1カ月、ブラジルレアル:21日金利スワップレート、日本円:東京ターム物リスク・フリー・レート1カ月を使用しております。

※2022年1月末基準よりそれぞれ、米ドル:1カ月LIBORからSOFR1カ月、日本円:1カ月LIBORから東京ターム物リスク・フリー・レート1カ月に切り替えました。

DWS 通貨選択型エマージング・ソブリン・ボンド・ファンド

豪ドルコース(毎月分配型)／ブラジルレアルコース(毎月分配型)／円コース(毎月分配型)



追加型投信／海外／債券

月次報告書

設定・運用：ドイチュ・アセット・マネジメント株式会社

ファンドの特色

1 DWS 通貨選択型エマージング・ソブリン・ボンド・ファンドは、豪ドルコース、ブラジルレアルコース、円コースの3つのファンドで構成されています。

(注1) 販売会社によっては、一部のコースのみの取扱いとなる場合があります。詳しくは販売会社にお問合せ下さい。

(注2) 各ファンド間でのスイッチングの取扱いは販売会社により異なります。詳しくは販売会社にお問合せ下さい。

2 各ファンドは、新興国^{*}の政府及び政府機関等の発行する米ドル建の債券等を実質的な主要投資対象とし、高水準のインカム・ゲインの獲得とファンド資産の中長期的な成長を目指します。

※ 投資対象となる新興国は、投資を行う時点で、JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイドの構成国、国際通貨基金(IMF)が「新興市場国・発展途上国」に分類する国、世界銀行が「低所得国」または「中所得国」に分類する国のいずれかに該当する国とします。なお、投資対象となる新興国は、実質的な運用を行うDWSインベストメントGmbHの判断により変更される場合があります。

3 各ファンドはファンド・オブ・ファンズの方式で運用を行います。

- 主要投資対象であるDWS エマージング・ソブリン・ボンド・マスター・ファンドの特色は以下の通りです。

主に新興国(政府及び政府機関等の発行する米ドル建の債券等)に投資し、高水準のインカム・ゲインの獲得とファンド資産の中長期的な成長を目指します。
米ドル建以外の資産への投資は、原則として、ファンド資産の20%以内とします。ただし、この場合は当該米ドル以外の通貨売り、米ドル買いの為替取引を行うことを原則とします。

ポートフォリオの平均デュレーションは、原則として、エマージング債券市場平均^{※1}に対して±2.0年の範囲とします。

※1 JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイド^{※2}の数値を使用します。当該指標はファンドのベンチマークではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。

※2 JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイドとは、J.P.Morgan Securities LLCが算出、公表し、米ドル建の新興国債及び国債に準じる債券を対象として指数構成国の組入比率に調整を加えた指標です。

ポートフォリオの平均格付は、原則として、B-格相当以上とします。

※ 格付が公表されていない場合は、発行体の財務内容等を分析して適切と判断した格付を用います。

※ 複数の格付機関により異なる格付が付与されている場合は、原則として上位の格付を採用します。

DWS エマージング・ソブリン・ボンド・マスター・ファンドは、DWSインベストメントGmbHが運用を行います。

DWSインベストメントGmbHはドイツ銀行グループの資産運用部門(DWS)のドイツにおける拠点です。

- DWS エマージング・ソブリン・ボンド・マスター・ファンドは、次の3つの通貨クラスの円建投資信託証券を発行します。

① 米ドル建資産 ^(注) について原則として豪ドル、ブラジルレアルで各自為替取引(米ドル売り、当該各通貨買い)を行う通貨クラス *	対円での為替ヘッジなし
* 豪ドルクラス、ブラジルレアルクラスがあります。	
② 米ドル建資産 ^(注) について原則として対円での為替ヘッジを行う円クラス	対円での為替ヘッジあり

(注)米ドル建以外の資産へ投資を行う場合は、当該米ドル以外の通貨売り、米ドル買いの為替取引を行うことを原則とします。

- 各ファンドは、主要投資対象とする投資信託証券の他に、「DWS フォルゾーゲ・ゲルトマルクト(ルクセンブルグ籍ユーロ建外国投資信託証券)」にも投資を行います。

4 毎月決算を行い、収益分配を行います。

■毎月20日(当該日が休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、収益分配方針に基づき収益分配を行います。

■分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。

追加型投信／海外／債券

月次報告書

設定・運用：ドイチュ・アセット・マネジメント株式会社

DWS 通貨選択型エマージング・ソブリン・ボンド・ファンド投資の3つのポイント

1 米ドル建新興国債券の魅力的な利回り

相対的に高い利回りの新興国の米ドル建の国債及び政府機関債等に投資を行うことで、米国国債への投資と比較して高水準の金利収入が期待されます。

2 為替取引によるプレミアム／コスト

＜豪ドルコース、ブラジルレアルコース＞各コースの通貨の短期金利が米ドルの短期金利よりも高い場合、米ドル建資産に対し各コースの通貨で為替取引を行うことで「為替取引によるプレミアム」が期待されます。逆に、各コースの通貨の短期金利が米ドルの短期金利よりも低い場合、米ドル建資産に対し各コースの通貨で為替取引を行うことで「為替取引によるコスト」が見込まれます。

3 為替の変動

円コース以外の各コースの対象通貨の為替レートが対円で上昇した(円安になった)場合、為替差益が期待されます。逆に各コースの対象通貨の為替レートが下落した(円高になった)場合、為替差損が発生します。円コースは対円での為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。

※「為替取引によるプレミアム／コスト」または「ヘッジプレミアム／コスト」としては、各コースの通貨と米ドルとの間の金利差等が反映された収益／費用が見込まれます。

(注)市況動向及び資金動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

(ご参考)ノン・デリバラブル・フォワード(NDF)について

当ファンドでは「ブラジルレアルコース」のみNDFによる為替取引を行っています(2022年6月末現在)。

NDFは為替予約取引*の一種です。通常の為替予約取引では、決済日に元本の交換または差金決済が可能ですが、NDFの場合は通貨規制により新興国通貨(例えば、ブラジルレアル)の取引が困難なため、元本交換を行わず決済日の為替レートを使って米ドルによる差金決済が行われます。また、為替取引によるプレミアム／コストは需要と供給等の要因により金利差から計算される理論値から乖離することがあります。特に、NDFの場合は乖離幅が大きくなることがあります。

* 為替予約取引とは、特定の外国通貨を将来の一定の時期に一定の価格(為替レート)で受け渡すことを現時点において約定する取引をいいます。

追加型投信／海外／債券

月次報告書

設定・運用：トイチ・アセット・マネジメント株式会社

投資リスク

基準価額の変動要因

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元金が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。当ファンドに生じた利益及び損失は、すべて投資者に帰属します。基準価額の変動要因は、以下に限定されません。なお、当ファンドは預貯金と異なります。

1. 金利変動リスク

債券価格は、通常、金利が上昇した場合には下落傾向となり、金利が低下した場合には上昇傾向となります。したがって、金利が上昇した場合には、保有している債券の価格は下落し、ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。特に、新興国の債券等の価格は、こうした金利変動や投資環境の変化等の影響を大きく受け、短期間に大幅に変動する可能性があります。

2. 信用リスク

債券価格は、発行者の信用状況等の悪化により、下落することがあります。特に、デフォルト(債務不履行)が生じた場合または予想される場合には、当該債券の価格は大きく下落(価格がゼロとなることもあります。)し、ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。特に、新興国の債券等の格付の低い債券は、格付の高い債券と比較して、一般的に信用度が低く、発行者の信用状況等の変化により短期間に価格が大きく変動する可能性やデフォルトの可能性が高いと考えられます。

3. 為替変動リスク

<豪ドルコース／ブラジルレアルコース>

各ファンドの実質的な保有外貨建資産(米ドル建資産)について、原則として対円での為替ヘッジを行わず、各コースにおける通貨での為替取引(米ドル売り、当該各通貨買い)を行うため、各ファンドは当該各通貨の対円での為替変動の影響を受けます。したがって、為替相場が当該各通貨に対して円高になった場合は、ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。特に、新興国の通貨については、政治、経済情勢の変化等による為替相場の変動がより大きくなる可能性があります。なお、実質的な保有外貨建資産額と為替取引額を完全に一致させることができるとは限らないため、米ドルの対円での為替変動の影響を受ける可能性があります。また、当該各通貨と米ドルの金利差等が反映された為替取引によるコストがかかり、基準価額の下落要因となることがあります。

<円コース>

ファンドの実質的な保有外貨建資産(米ドル建資産)について、原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。ただし、完全に対円での為替ヘッジを行うことは限らないため、米ドルの対円での為替変動の影響を受ける可能性があります。また、円と米ドルの金利差等が反映されたヘッジコストがかかり、基準価額の下落要因となることがあります。

4. カントリーリスク

投資対象国(為替取引対象国を含みます。)の政治、経済情勢の変化等により、市場が混乱した場合や、組入資産の取引に関する法制度の変更が行われた場合等には、有価証券や通貨等の価格が変動したり、投資方針に沿った運用が困難な場合があります。これらにより、ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。特に、新興国への投資については、一般的に先進諸国への投資に比べカントリーリスクが高くなります。

5. 流動性リスク

急激かつ多量の売買により市場が大きな影響を受けた場合、または市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等には、機動的に有価証券等を売買できないことがあります。このような場合には、当該有価証券等の価格の下落により、ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。

その他の留意点

- 一部の新興国の通貨(特に為替規制を行っている通貨)については、ノン・デリバラブル・フォワード(NDF)という取引手法を用いて為替取引を行う場合があります。NDFは為替予約取引の一種ですが、当該通貨を用いた受渡しは行われず、米ドル等の主要通貨によって差金決済されます。当該新興国の為替市場における通貨の値動きは、内外の為替取引の自由化を実施していないことから、価格間の裁定が働きにくい状況となっており、NDFにおける通貨の値動きと実際の為替市場の値動きは一致せず、大きく乖離する場合があります。この結果、当該通貨コースの基準価額の値動きが、実際の為替市場の値動きから想定されるものと大きく乖離する場合があります。
- 各ファンドの資産規模に対して大量の購入申込み(ファンドへの資金流入)または大量の換金申込み(ファンドからの資金流出)があった場合、基準価額の変動が市場動向と大きく異なる可能性があります。
- 当ファンドは、大量の換金が発生し短期間で換金代金を手当てる必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金申込みの受け付けが中止となる可能性、換金代金の支払いが遅延する可能性等があります。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。

DWS 通貨選択型エマージング・ソブリン・ボンド・ファンド

豪ドルコース(毎月分配型)／ブラジルレアルコース(毎月分配型)／円コース(毎月分配型)

DWS

追加型投信／海外／債券

月次報告書

設定・運用：ドイチュ・アセット・マネジメント株式会社

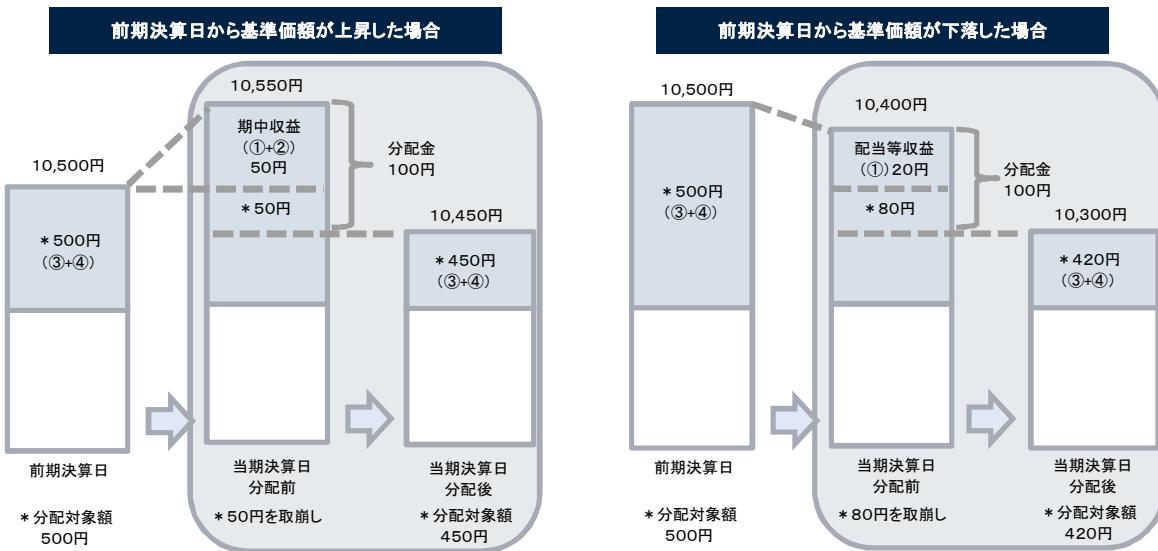
収益分配金に関する留意事項

- 投資信託の分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。なお、分配金の有無や金額は確定したものではありません。



- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの收益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合



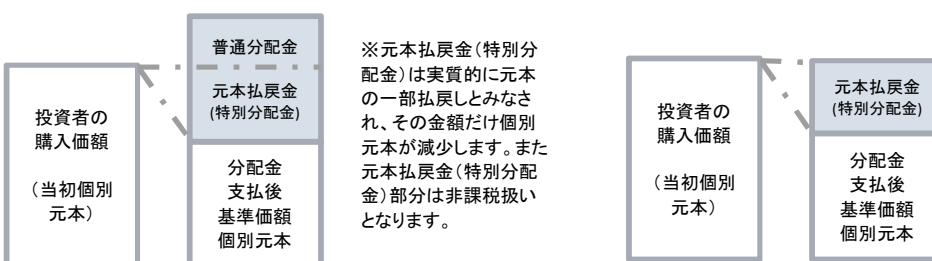
(注)分配対象額は、①経費控除後の配当等収益及び②経費控除後の評価益を含む売買益並びに③分配準備積立金及び④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご留意下さい。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払い戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払い戻しに相当する場合

分配金の全部が元本の一部払い戻しに相当する場合



普通分配金:個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金(特別分配金):個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

(注)普通分配金に対する課税については「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」の「ファンドの費用・税金」をご参照下さい。

P-220920-1S

追加型投信／海外／債券

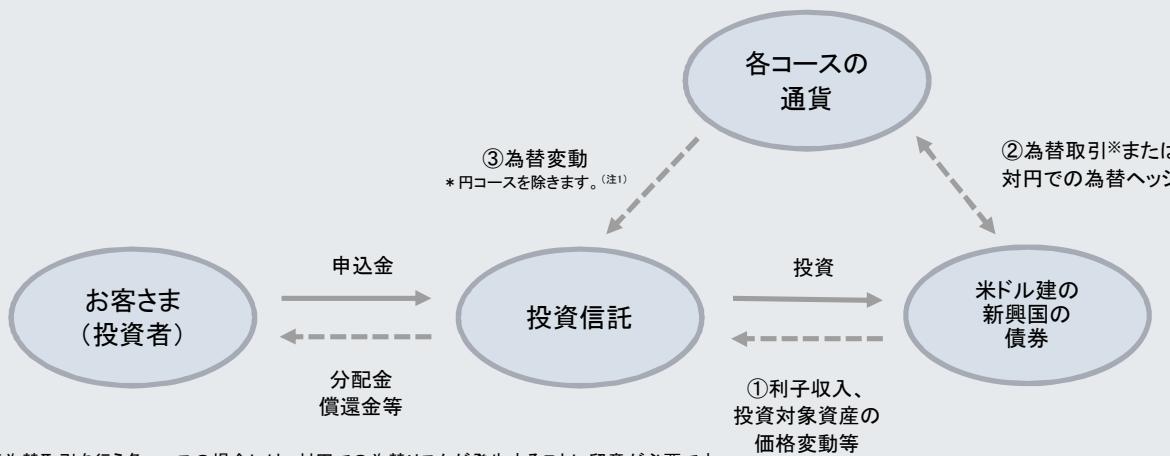
月次報告書

設定・運用：ドイチュ・アセット・マネジメント株式会社

通貨選択型ファンドの収益のイメージ

- 通貨選択型の投資信託は、投資対象資産に加えて、為替取引の対象となる円以外の通貨も選択できるよう設計された投資信託です。

<通貨選択型の投資信託のイメージ図>



- 通貨選択型の投資信託の収益源としては、以下の3つの要素が挙げられます。

これらの収益源に相応してリスクが内在していることに注意が必要です。

$$\text{収益の源泉} = \text{米ドル建の新興国の債券の利子収入、値上がり／値下がり} + \text{為替取引によるプレミアム／コスト または ヘッジプレミアム／コスト} + \text{為替差益／差損}$$

(1) (2) (3)

*円コースを除きます。(注1)

収益を得られる ケース	<ul style="list-style-type: none"> ・金利の低下 債券価格の上昇 	<ul style="list-style-type: none"> ・各コースの通貨の短期金利 > 米ドルの短期金利 プレミアム(金利差相当分の収益)の発生 	<ul style="list-style-type: none"> ・円に対して各コースの通貨高 為替差益の発生
損失やコストが 発生するケース	<ul style="list-style-type: none"> 債券価格の下落 ・金利の上昇 ・発行体の信用状況の悪化 	<ul style="list-style-type: none"> コスト(金利差相当分の費用)の発生 ・各コースの通貨の短期金利 < 米ドルの短期金利 	<ul style="list-style-type: none"> ・円に対して各コースの通貨安 為替差損の発生

(注1)円コースでは、ファンドの実質的な保有外貨建資産(米ドル建資産)について、為替変動リスクの低減を図るため、原則として対円での為替ヘッジを行います。ただし、完全に対円での為替ヘッジを行うことができるとは限らないため、米ドルの対円での為替変動の影響を受ける可能性があります。

(注2)「為替取引によるプレミアム／コスト」または「ヘッジプレミアム／コスト」としては、各コースの通貨と米ドルの間の金利差等が反映された収益／費用が見込まれます。

上記はイメージです。市況動向等によっては、上記の通りにならない場合があります。

P-220920-1S

DWS 通貨選択型エマージング・ソブリン・ボンド・ファンド

豪ドルコース(毎月分配型)／ブラジルレアルコース(毎月分配型)／円コース(毎月分配型)



追加型投信／海外／債券

月次報告書

設定・運用：ドイチュ・アセット・マネジメント株式会社

お申込みメモ

■申込締切時間／原則として、販売会社の営業日の午後3時までに購入申込み・換金申込みが行われ、販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日の購入・換金申込 受付分として取扱います。ただし、フランクフルトの銀行休業日またはルクセンブルグの銀行休業日には受付を行いません。
受付不可日

■購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
■購入単位	販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問合せ下さい。
■信託期間／	信託設定日(2009年9月25日)から2024年6月20日まで ※ただし、各ファンドについて残存口数が10億口を下回ることとなった場合、受益者のために有利であると委託会社が認める場合またはやむを得ない事情が発生した場合には、信託を終了させていただくことがあります。
■繰上償還	
■決算日	原則として毎月20日(休業日の場合は翌営業日)とします。
■収益分配	毎決算時に、信託約款に定める収益分配方針に基づいて行います。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。 (注)将来の分配金の支払い及びその金額について保証するものではありません。
■換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
■換金単位	販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問合せ下さい。
■換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目から販売会社においてお支払いします。
■課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。配当控除、益金不算入制度の適用はありません。 原則として、分配時の普通分配金並びに換金(解約)時及び償還時の差益(譲渡益)に対して課税されます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。 (注)法人の場合は税制が異なります。税法が改正された場合等には上記の内容が変更されることがあります。

ファンドの費用

時期	項目	費用	
投資者が直接的に負担する費用			
購入時	購入時手数料	購入申込受付日の翌営業日の基準価額に3.85%(税抜3.5%)を上限として販売会社が定める手数料率を乗じて得た額	
換金時	信託財産留保額	ありません。	
投資者が信託財産で間接的に負担する費用			
毎日	運用 信 管 託 理 報 費 酬 用 一 用	実質的な負担((①+②))	信託財産の純資産総額に対して年率1.764%程度(税込)
		①当ファンド	信託財産の純資産総額に対して年率1.364%(税抜1.24%)
		②投資対象とする 投資信託証券	年率0.40%以内
その他の費用・手数料		当ファンド及び組入ファンドにおいて、信託事務の処理等に要する諸費用(ファンドの監査に係る監査法人への報酬、法律・税務顧問への報酬、目論見書・運用報告書等の作成・印刷等に係る費用等を含みます。以下同じ。)、組入資産の売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の費用、管理報酬、為替取引または対円での為替ヘッジに係る報酬、租税等がかかります。これらは原則として信託財産が負担します。 ただし、これらの費用のうち当ファンドの信託事務の処理等に要する諸費用の信託財産での負担は、その純資産総額に対して年率0.10%を上限とします。 「その他の費用・手数料」は、運用状況等により変動するものであり、一部を除き事前に料率、上限額等を表示することができません。	

※収益分配金を再投資する際には、購入時手数料はかかりません。

※「税」とは、消費税及び地方消費税に相当する金額のことを指します。

※投資者の皆様が負担する費用の合計額については、ファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

委託会社、その他の関係法人

●委託会社	ドイチュ・アセット・マネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第359号 加入協会 日本証券業協会 一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会 一般社団法人第二種金融商品取引業協会 信託財産の運用指図等を行います。 ホームページアドレス https://funds.dws.com/jp/
●受託会社	三井住友信託銀行株式会社 信託財産の保管・管理等を行います。
●販売会社	当ファンドの募集の取扱い等を行います。 投資信託説明書(交付目論見書)の提供は、販売会社にて行います。 販売会社につきましては、委託会社にお問合せ下さい。

P-220920-1S

<ご留意事項>

投資信託のお申込みに関しては、下記の点をご理解いただき、投資の判断はお客様ご自身の責任においてなさいますようお願い申し上げます。
■当資料はドイチュ・アセット・マネジメント株式会社が作成した資料です。■当資料記載の情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。データ等参考情報は信頼できる情報をもとに作成しておりますが、正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。また、使用しているデータについては特段の注記の無い限り、費用・税金等を考慮しておりません。■当資料記載の内容は将来の運用成果等を保証もしくは示唆するものではありません。■投資信託は、株式、公社債などの値動きのある証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されるものではありません。投資信託の運用による損益は、すべて投資信託をご購入のお客様に帰属します。■投資信託は、金融機関の預貯金と異なり、元本および利息の保証はありません。■投資信託は、預金または保険契約ではないため、預金保険および保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。■登録金融機関を通じてご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。■ご購入に際しては、販売会社より最新の投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ず内容をご確認の上、ご自身で判断して下さい。

※当資料に記載されているご留意事項等を必ずご覧下さい。

DWS 通貨選択型エマージング・ソブリン・ボンド・ファンド

豪ドルコース(毎月分配型)／ブラジルレアルコース(毎月分配型)／円コース(毎月分配型)



追加型投信／海外／債券

月次報告書

設定・運用：ドイチ・アセット・マネジメント株式会社

当ファンドの販売会社は以下の通りです。

(五十音順)

金融商品取引業者名	登録番号	加入協会				備考
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第61号	○	○	○	○	
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○	○	
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号	○		○	○	
株式会社SBI新生銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第10号	○		○		委託金融商品取引業者: 株式会社SBI証券 マネックス証券株式会社
岡三証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第53号	○	○	○	○	一般社団法人日本暗号資産取引業協会に加入しています。
ニュース証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第138号	○	○			
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	○	
丸三証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第167号	○				
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○	